

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	市民安全課 菅原 良		
防安-09	実施事業	交通安全対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民安全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	交通安全意識の高揚	

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

対象	市民等	・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。 ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。 ・鎌倉市内の特定箇所(4箇所)に、多くの観光客が訪れる場所に交通誘導員を配置した。 ・富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。
意図	交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。	
効果	交通事故及び死傷者の減少を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,925世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	16,699	20,441	20,441	当初予算(千円)	22,665		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	16,699	20,441	20,441	一般財源	22,665		
事業経費運営	人員配置数	2.5	2.5	2.5	人員配置数	2.2		
	人件費(千円)	19,222	20,212	20,212	人件費(千円)	17,427		
	総事業費(千円)	35,921	40,653	40,653	総事業費(千円)	40,092		
	市民1人当りの経費(円)	203	230	230	市民1人当りの経費(円)	227		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・大船交通安全協会等
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市内の交通関係機関・団体等と連携、協力し、さらなる効果的な交通安全対策を推進していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	市内の交通事故件数は年々減少傾向にあり、ピーク時の平成12年と比較して半数以下となっており、事業は妥当と考え、「有効性」は4とした。 今後も、子どもから高齢者まで、各世代に応じた交通安全教育の拡大・充実を図るとともに、自転車の安全な利用の促進に関する施策を推進していく。 また、警察、道路管理者、市内交通関係機関等との連携を密にして、総合的・効果的なスクールゾーン等の交通安全対策を推進していく。	

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	本市の交通事故の特徴として、高齢者、二輪車、自転車の関係する事故が、高い割合を占めている。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	小・中・高校生向けの自転車教室や高齢者向け交通安全教室の実施。 鎌倉・大船警察署等の関係機関、団体と連携しての交通安全キャンペーンの実施。 「鎌倉市自転車安全総合推進計画」に基づく施策の一つとして、「自転車左側通行」の路面標示を実施。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市内の交通事故発生件数は減少傾向にあるが、依然として、高齢者、二輪車の関係する交通事故が高い割合を占めている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成29年中の交通事故発生件数(上段:交通事故発生件数、下段:人口千人当たり交通事故発生件数)。								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	657	1435	546	924	760	1363	218	137	
	3.70	3.30	2.20	3.60	3.90	3.30	3.60	3.10	

比較事項	平成29年中の高齢者の交通事故発生件数(上段:交通事故発生件数、下段:人口千人当たり交通事故発生件数)。								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	245	465	178	325	298	529	75	62	
	1.4	1.1	0.7	1.3	1.5	1.3	1.3	1.4	

比較事項	平成29年中の二輪車の交通事故発生件数(上段:交通事故発生件数、下段:人口千人当たり交通事故発生件数)。								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	217	403	172	232	134	474	80	55	
	1.2	0.9	0.7	0.9	0.7	1.2	1.3	1.2	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市の平成29年中の人口千人当たり交通事故発生件数は、神奈川県平均(3.1)より上回っており、さらなる交通事故の減少を目指していく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	年間交通事故死者数を0人とする。					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
平成28年度以降については、「第10次鎌倉市交通安全計画(平成28年度～32年度)」の目標値。	目標値	0	0	0	0	0	0			
	実績値	2	3	1	3					
	達成率	-	-	-	-					

指標の内容	高齢者の交通事故					単位	件	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
高齢者の交通安全意識の高揚を図るため。	目標値	0	0	0	0	0	0			
	実績値	214	195	226	245.0					
	達成率	-	-	-	-					

指標の内容	二輪車の交通事故					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
二輪車の事故防止の徹底を図るため。	目標値	0	0	0	0	0	0			
	実績値	197	179	183	217.0					
	達成率	-	-	-	-					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	人命尊重の理念に基づき、交通事故による死傷者数を限りなくゼロに近づけ、交通事故のない社会の実現を目指す。
-----------------------	--